

平成24年度 アクションプログラム実施結果

No. 14-1

兵庫森林管理署

取組名	木材の安定的供給体制の整備（継続）
流域名	揖保川・加古川・円山川流域
重点事項番号	①－11、①－12、①－13
実施箇所及び実施日	西播磨地域木材安定供給協議会：兵庫県西播磨総合庁舎 （平成24年5月10日、9月18日、11月5日、平成25年2月20日、3月4日） 原木安定需給に係る情報交換会：兵庫県養父市「但馬長寿の郷」 （平成24年10月9日）
取組の背景及び必要性	大型製材加工施設「兵庫木材センター」が平成22年12月から本格稼働している。平成24年度の原木取扱量は、115千m ³ 計画されており、圏域における生産量の確保、木材の安定供給体制の整備が必要である。
取組の内容	<p>【全体の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西播磨地域木材安定協議会、森林・林業活性化センターへの参画による木材需要、供給情報の収集交換等 <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西播磨地域木材安定協議会、森林・林業活性化センターへの参画による木材需要、供給情報の収集交換等 ・システム販売等により木材を安定的に供給 ・林地残材の販売 <p>【平成24年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西播磨地域木材安定協議会、森林・林業活性化センター、意見交換会等の場での木材需要、供給情報の収集交換等 ・赤西国有林外5において、システムで9,543m³、委託で5,022m³を販売し、木材を安定的に供給
国有林担当部局・役割	署業務課 （企画、実行、協力）
連携協働相手先・役割	兵庫県、宍粟市、流域森林・林業活性化センター、森林組合等林業事業者 （企画、実行、協力）
取組の結果、反響、今後の課題等	平成24年度の製品販売においては、兵庫県内大型製材工場への安定供給を視野に入れたシステム販売を実施すると同時に、平成23年度にほとんど実績のなかった地元山崎木材市場への委託販売を再開し、これまでのいびつな体制を解消するとともに、地域の国有林とした地場産業の振興にも寄与することが出来た。 パルプチップ用材の需要減からC材の需要が先細りし、民・国材とも供給過多の状況に陥っており、木材バイオマス発電への供給が想定されるまでの間の需要発掘が課題となっている。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：木材安定協議会等で周知、検討されている。 効果：西播磨地域を含む県産木材の加工・流通の拠点である兵庫木材センターでは、平成25年度も125千m ³ の原木利用が計画されている。

【 参 考 資 料 】

取 組 名 木材の安定的供給体制の整備（継続）



生産事業現場（宍粟市 鍋ヶ谷国有林）
フォワーダによる運搬

生産事業現場（宍粟市 鍋ヶ谷国有林）
フォワーダによる積込



兵庫木材センターへ出材（スギ丸太）



原木の安定需給に係る情報交換会（養父市）

平成24年度 アクションプログラム実施結果

No. 14-2

兵庫森林管理署

取組名	民有林との共同施業団地の設定と施業の連携（継続）
流域名	揖保川・円山川流域
重点事項番号	②－22、②－23
実施箇所及び実施日	宍粟美しい森林づくり推進協定を締結〔属人協定〕（平成24年12月2日） 連携する林業専用道を設置〔860m〕：宍粟市千種町（平成24年3月～） 運営会議を開催（平成24年10月4日、平成25年1月17日、2月28日）
取組の背景及び必要性	森林共同施業団地を設定済みであり、団地内での一体的な路網整備等による低コスト化、森林整備を図る必要がある。
取組の内容	<p>【全体の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい森林づくりに関する覚書（兵庫県知事、近畿中国森林管理局長、森林農地整備センター近畿北陸整備局副局長）に基づく民国連携施業の体制構築 <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林共同施業団地（三室地域、福知地域）を設定 ・三室地域内で連携した林業専用道を設置（民有地 680m） ・宍粟美しい森林づくり推進協定を締結〔属人協定〕（H23年3月） ・美方郡美しい森林づくり推進協定を締結〔属人協定〕（H24年3月） <p>【平成24年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宍粟美しい森林づくり推進協定を締結〔属人協定〕（平成24年12月） ・宍粟市地域の協定内で林業専用道を発注予定（民有地 860m） ・連絡調整会議を開催（宍粟市地域 2回、美方郡地域 1回）
国有林担当部局・役割	署業務課 （企画、実行、協力）
連携協働相手先・役割	森林総研、兵庫県、関係市町、兵庫みどり公社、関係森林組合 （企画、実行、協力）
取組の結果、反響、今後の課題等	宍粟市地域の協定〔属人協定〕では、昨年度からの調整により、協定者が2者から5者が増えた。今後は森林共同施業団地を設定し、森林整備実施計画を策定した上で連携した森林整備を行う必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：関係機関内の広報誌及び各種会議で周知。 効果：宍粟市地域では、参画の協定者増により、民・国及び民・民の一層の連携が期待される。

【参考資料】

取 組 名 民有林との共同施業団地の設定と施業の連携（継続）



5者による森林づくり推進協定を締結
(平成24年12月2日)



森林づくり推進協定締結に関する広報記事
(ひょうご自治12月号)



連携について検討する連絡調整会議
(宍粟美しい森林づくり推進協定)



民・国連携による林業専用道の予定地
(宍粟市千種町民有地)

平成24年度 アクションプログラム実施結果

No. 14-3

兵庫森林管理署

取組名	低コスト生産システムの民有林への普及（継続）
流域名	揖保川・加古川・円山川流域
重点事項番号	②－21、③－31
実施箇所及び実施日	関西地区林業試験研究機関連絡協議会：宍粟市一宮町 （平成24年8月23日～24日）[対象者33名] 林地残材等のバイオマス利用検討会：宍粟市一宮町 （平成24年9月13日）[対象者50名] 「緑の雇用」現場技能者育成対策事業集合研修：マンガ谷国有林 （平成24年10月24日）[対象者40名]
取組の背景及び必要性	当署管内には、高性能林業機械を導入し、低コスト生産システムを実現している事業体があり、民有林にも普及・定着させる。
取組の内容	<p>【全体の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県、西播磨流域森林・林業活性化センター、宍粟市等と連携して高性能林業機械を使用した低コスト生産システム現地検討会を開催するなど普及を促進 <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低コスト生産システム現地検討会を開催 ・低コスト生産システムのパンフレット等を作成 ・森林作業道作設オペレーター育成研修を実施（主催：フォレスト・サーベイ） <p>【平成24年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県の「緑の雇用」現場技能者育成研修（森林整備の低コスト化研修）にマンガ谷国有林をフィールドとして提供 ・兵庫県外主催の現地検討会・林業講習会等へ参加（9回）
国有林担当 部局・役割	署業務課 <div style="text-align: right;">（企画・実行・協力）</div>
連携協働相手先 手先・役割	兵庫県、森林・林業活性化センター、宍粟市、林業事業体等 <div style="text-align: right;">（企画・実行・協力）</div>
取組の結果、反響、今後の課題等	関西地区林業試験研究機関連絡協議会では、兵庫署が取り組んでいる林地残材の搬出及び販売について西日本各地の研究者に情報発信することが出来た。また、「緑の雇用」技能者研修では、生産から造林までを一括発注した事業地の視察等の実施により研修に協力が出来た。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：現地視察・検討会を通じ、関係機関へ情報を提供。 効果：民有林での低コスト生産システムの普及、定着が期待される。

【参考資料】

取 組 名 低コスト生産システムの民有林への普及（継続）



林地残材の取組について説明する兵庫署職員
（兵庫県主催）



低コスト原木供給団地での搬出間伐検討会
（兵庫県主催：宍粟市一宮町民有地）



林地残材を集積後、破碎する木材破砕機
（兵庫県主催：宍粟市一宮町民有地）



同左



「緑の雇用」技能者研修で生産現場（架線集材）を視察
（宍粟市マンガ谷国有林）



←コンテナ苗を植栽

ハイトシェルターで苗木を保護する研修生
（宍粟市マンガ谷国有林）

平成24年度 アクションプログラム実施結果

No. 14-4

兵庫森林管理署

取組名	森林吸収源対策による林業事業体の育成等（継続）				
流域名	揖保川・加古川・円山川流域				
重点事項番号	③－33、③－34				
実施箇所及び実施日	労働基準監督署と兵庫署との合同安全パトロールを実施：マンガ谷国有林（平成24年10月15日）				
取組の背景及び必要性	「地球温暖化防止森林吸収源10ヶ年対策」により追加的な間伐等の森林整備が必要であり、これに対応できる事業体の育成及び労働安全が求められている。				
取組の内容	<p>【全体の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業事業体の育成 ・労基署との合同安全パトロールを実施、安全講習会を開催 <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の安定発注 ・労基署との合同安全パトロールを実施、安全講習会を開催 <p>【平成24年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・253haに及ぶ間伐等について、一般競争入札により請負事業発注 ・民間競争入札（複数年契約[3ヶ年]）により生産事業を請負事業発注 ・労基署との合同安全パトロールを実施 				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">国有林担当部局・役割</td> <td>署業務課 （企画・実行）</td> </tr> <tr> <td>連携協働相手先・役割</td> <td>労働基準監督署、林業事業体 （企画・実行・講師・協力）</td> </tr> </table>	国有林担当部局・役割	署業務課 （企画・実行）	連携協働相手先・役割	労働基準監督署、林業事業体 （企画・実行・講師・協力）	
国有林担当部局・役割	署業務課 （企画・実行）				
連携協働相手先・役割	労働基準監督署、林業事業体 （企画・実行・講師・協力）				
取組の結果、反響、今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・林業事業体の事業量確保に一定の貢献が出来た。今後とも安定した事業発注が必要。 ・労基署と連携した合同安全パトロールを実施することにより林業事業体の安全意識の高揚に繋がった。 				
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>PR：林業事業体に対する安全周知については、労基署との合同安全パトロール及び安全指導等により実施。</p> <p>効果：「森林・林業再生プラン」の確実な推進に向けて、その役割の一役を担う林業事業体の育成強化が期待される。</p> <p style="text-align: center;">：兵庫県内における林業労働安全の確保が期待される。</p>				

【参考資料】

取 組 名 森林吸収源対策による林業事業体の育成等（継続）

○生産事業現場で労働基準監督署との合同安全パトロール

（宍粟市マンガ谷国有林）



生産事業現場（宍粟市マンガ谷）

平成24年度 アクションプログラム実施結果

No. 14-5

兵庫森林管理署

取組名	都市近郊林における治山事業（継続）
流域名	揖保川・加古川流域
重点事項番号	④－41、④－42、④－43
実施箇所及び実施日	清水坂国有林山腹工事外発注（平成24年3月～12月） 地元説明会（平成24年5月16日外）
取組の背景及び必要性	都市近郊林に点在する国有林は、住宅等に近接している箇所が多く、防災・住環境上の観点から森林整備が求められている。 また、事業実施にあたり、地域住民への事前説明等によるコンセンサスを得る必要がある。
取組の内容	<p>【全体の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山腹工の実施 ・被害木の除去、森林の健全化のための森林整備を実施 <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防治山による山腹工を実施 ・保安林改良事業及び丸太筋工を実施 <p>【平成24年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧治山工事を施工、保安林整備事業を実施 ・地域住民等への説明会を実施 [住民10名、行政機関8名]（西宮市4回開催） ・地元小学生による土砂崩壊防止活動を実施（植栽する広葉樹のドングリ拾い、ポット苗作り）（平成24年11月12日）
国有林担当部局・役割	署治山課 （企画・実行）
連携協働相手先・役割	地元住民 （理解・協力）
取組の結果、反響、今後の課題等	都市近郊林における治山事業は、地元住民の理解と協力が不可欠であり、実施した事業については全て理解と協力が得られた。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：地元説明会等。 効果：PRも兼ねた説明会を実施することにより、国有林野への理解と協力が得られる。

【参考資料】

取 組 名 都市近郊林における治山事業（継続）



加古川市清水坂国有林山腹工事



宝塚市北中山国有林溪間工事



地元説明会（西宮市）



山の再生のために植えるドングリのポット苗作りをする児童（加古川市志方西小学校）



児童の活動が新聞で紹介（平成24年11月14日付神戸新聞）

平成24年度 アクションプログラム実施結果

No. 14-6

兵庫森林管理署

取組名	公共土木事業等における国産材利用の推進（継続）	
流域名	揖保川・加古川・円山川流域	
重点事項番号	①－13	
実施箇所及び実施日	阿舎利林業専用道の発注：阿舎利国有林（平成24年7月25日） 岩上谷林業専用道の発注：宍粟市千種町民有地（平成25年3月） 清水坂国有林外山腹工事外の発注（平成24年3月～12月）	
取組の背景及び必要性	農林水産省では、平成22年12月に「新農林水産省木材利用促進計画」を策定した。公共土木工事、庁舎等、備品、消耗品などへの木材利用に取り組む必要がある。	
取組の内容	<p>【全体の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 治山工事等に木材を積極的に使用 ・ 各種会議の場において木材の利用促進についてPRを実施 <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 丸太土留工、残存型枠、ウッドブロックなどを施工 ・ 各種会議において国産材の利用促進についてPRを実施 ・ 宿舍修繕における国産材を積極的に利用 <p>【平成24年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 阿舎利林業専用道新設工事（木柵工）に6m³の木材を利用（阿舎利国有林） ・ 岩上谷林業専用道新設工事（木柵工）に23m³の木材を使用（宍粟市千種町民有地） ・ 清水坂国有林外治山工事（山腹工、床固工）に36m³の木材を利用 	
	国有林担当部局・役割	署総務課、業務課、治山課 （企画・実行）
	連携協働相手先・役割	兵庫県、市町 （企画・協力）
取組の結果、反響、今後の課題等	前年度に引き続き、土木、治山工事において、木材を利用することが出来た。 今後とも工夫を重ね木材の利用に努める。	
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：各種会議等。 効果：木材自給率50%という目標達成や地球温暖化対策への貢献のため、国自ら国産材を利用していくことで取組の理解が得られる。	

【参考資料】

取 組 名 公共土木事業等における国産材利用の推進（継続）



○木材を利用した林業専用道工事
阿舎利林業専用道（宋栗市阿舎利国有林）
木柵工（30m 利用）

○木材を利用した治山工事
清水坂山腹工事（加古川市清水坂国有林）
丸太筋工（5m 利用）



清水坂山腹工事（加古川市清水坂国有林）
丸太筋工（9m 利用）



北中山溪間工事（宝塚市北中山国有林）
木製床固工（12m 利用）



平成24年度 アクションプログラム実施結果

No. 14-7

兵庫森林管理署

取組名	緑の回廊をフィールドとした野生鳥獣との共生（継続）
流域名	揖保川・円山川流域
重点事項番号	⑤－51、⑤－52、⑤－53
実施箇所及び実施日	氷ノ仙古生沼・古千本湿原の保全活動：奥山国有林 （平成24年6月3日） 地元住民による巡視（平成24年6月～11月）
取組の背景及び必要性	野生動植物の生息・生育地の拡大と相互交流を図るために「東中国山地緑の回廊」が設定された。その機能・目的を効果的に発揮させる取組が必要である。
取組の内容	<p>【全体の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近畿中国森林管理局主催の会議等に参加 ・近畿中国森林管理局と連携して試験地等を設置 ・観察会、巡視を実施 <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近畿中国森林管理局主催の会議に参加し、情報収集、意見交換を実施 ・地元と協力して、自然観察会、巡視を実施 <p>【平成24年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・局主催の連絡調整会議等に参加し、情報の収集交換を実施 ・自然保護団体の助言を受け、試験地を管理 ・自然環境、利用状況について、地元住民（2団体）による巡視を実施 ・自治体等と連携し、自然環境保全のための活動を実施（古生沼・古千本湿原保全活動による湿原に生育する希少植物の保護）
国有林担当部局・役割	近畿中国森林管理局計画課、指導普及課、署業務課 （企画・実行）
連携協働相手先・役割	兵庫県、新温泉町、養父市、香美町、上山高原エコミュージアム、日本イヌワシ研究会、南但馬の自然を考える会 （企画・実行・協力）
取組の結果、反響、今後の課題等	地元住民による緑の回廊内の巡視では、兵庫県のRDBのAランクに指定されている貴重な野生動植物の確認や森林被害などの情報が収集出来た。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：各機関の広報誌及びプレスリリース。 効果：緑の回廊連絡調整会議における関係機関の連携・調整。

【参考資料】

取 組 名 緑の回廊をフィールドとした野生鳥獣との共生（継続）



湿原の希少種を保全する活動 [ニホンジカによる採食対策]
(養父市奥山国有林)



緑の回廊内のモニタリング調査
(宍粟市三室国有林)



緑の回廊巡視 (養父市奥山国有林)



湿原内の希少種の生育確認 (養父市奥山国有林)



緑の回廊連絡調整会議 (岡山県西栗倉村)

平成24年度 アクションプログラム実施結果

No. 14-8

兵庫森林管理署

取組名	森林環境教育への積極的な支援と「遊々の森」の活用(継続)				
流域名	揖保川・加古川・円山川流域				
重点事項番号	⑥－61、⑥－62、⑥－63				
実施箇所及び実施日	「遊々の森」協定を締結（姫路市太市小学校）：槻坂国有林 （平成24年5月22日）				
取組の背景及び必要性	平成21年度に宝塚市と「遊々の森」協定を締結。宝塚市教育委員会では、先生たちの森林環境教育に関するレベルアップが検討されている。				
取組の内容	<p>【全体の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の先生等を対象に森林環境教育を実施 ・森林の広場、ふれあいの森を利用し森林教室等を開催 <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県と県教育委員会が小学3年生を対象に実施している自然型環境教育でフィールドを提供 ・森林の広場、ふれあいの森を利用し、森林教室等を開催 <p>【平成24年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太市小学校（姫路市）と「遊々の森」協定を締結し、学校環境学習に協力 				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">国有林担当部局・役割</td> <td>署業務課 （企画・実行）</td> </tr> <tr> <td>連携協働相手先・役割</td> <td>兵庫県、兵庫県教育委員会、宝塚市、宝塚教育委員会、太市小学校 （企画・実行・協力）</td> </tr> </table>	国有林担当部局・役割	署業務課 （企画・実行）	連携協働相手先・役割	兵庫県、兵庫県教育委員会、宝塚市、宝塚教育委員会、太市小学校 （企画・実行・協力）	
国有林担当部局・役割	署業務課 （企画・実行）				
連携協働相手先・役割	兵庫県、兵庫県教育委員会、宝塚市、宝塚教育委員会、太市小学校 （企画・実行・協力）				
取組の結果、反響、今後の課題等	太市小学校との「遊々の森」では、協定の締結が出来たところであり、今後、児童たちの自然体験学習に向けた具体的なプログラムの作成が必要である。宝塚市教育委員会の「遊々の森」活動は今年度は未実施であり、今後の活動が期待される。				
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：宝塚教育委員会、太市小学校から広報。 効果：森林林業に対する国民の理解が深まることについて、学校教育を通じて国民全体への広がり期待できる。				

【参考資料】

取 組 名 森林環境教育への積極的な支援と遊々の森の活用(継続)

○遊々の森「^{おおいち}太市遊々の森」の活動の森



姫路市太市小学校と「遊々の森」協定を締結

活動の森（姫路市槻坂国有林）



活動の森（姫路市槻坂国有林）

平成24年度 アクションプログラム実施結果

No. 14-9

兵庫森林管理署

取組名	中学生・高校生の職場体験等受け入れによる国有林のPR（継続）
流域名	揖保川流域
重点事項番号	⑥－61、⑥－63
実施箇所及び実施日	トライやるウィーク：音水国有林外（平成24年6月4日～8日） インターンシップ：赤西国有林外（平成24年11月19日～20日）
取組の背景及び必要性	学習の場を教育から地域へと移動することにより、地域との関わり、将来の社会人としての自覚を育てるということを目的に、中学・高校から生徒の受け入れ要請がある。
取組の内容	<p>【全体の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業体験を通じて生徒の自主性、自立性を高め、職業の果たす社会的役割を理解させるため、林内作業を行わせる <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生、高校生の職場体験等を受け入れ、森林環境教育等を実施 <p>【平成24年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トライやるウィーク：山崎西中学校2年生を一週間受け入れ、立木調査、測量、植栽、枝打、林道の清掃などを実施 ・インターンシップ：山崎高校の生徒を受け入れ、保護林や緑の回廊域、治山事業地を見学、また、林内作業（植栽、保護ネット）を実施
国有林担当部局・役割	署総務課、業務課 （企画・実行）
連携協働相手先・役割	宍粟市立山崎西中学校、兵庫県立山崎高校 （企画・実行）
取組の結果、反響、今後の課題等	生徒たちは、普段学校では出来ないことや、やってみたいと思う体験、森林環境を守り森林を育て保護していくための基礎的な知識・技術を習得することが出来た。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：中学・高校からの広報。 効果：学校からの受け入れ要請に応じていくことにより、森林・林業に関する幅広い理解の醸成と担い手の育成効果が期待できる。

【参考資料】

取 組 名 中学生・高校生の職場体験等受け入れによる国有林のPR（継続）

○トライやるウィーク



森の授業「森があるからこそ」



生産事業現場を見学



枝打作業を体験



林道を清掃



植栽体験（スギ苗木）



大径木と一緒に
（宍粟市音水国有林）

○インターンシップ



治山ダムの役割について学ぶ



多種多様な樹木について学ぶ



先代スギを前に（宍粟市赤西国有林）



植付実習

平成24年度 アクションプログラム実施結果

No. 14-10

兵庫森林管理署

取組名	宍粟市におけるみどりの交流等（継続）	
流域名	揖保川流域	
重点事項番号	⑥－62、⑥－63	
実施箇所及び実施日	宍粟市内の観光イベントに参加（平成24年6月3日、8月3日） 企業の森でCSR活動：赤西国有林 （平成24年4月13日、5月19日、8月25日）	
取組の背景及び必要性	森林林業に関する宍粟市内で行われる各種行事は、周辺住民も含め関心が高く、多種多様な活動が求められている。	
取組の内容	<p>【全体の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で行われる観光イベントへの参画、協力 ・自然観察会等の開催に伴う整備、実施に協力 <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山崎さつき祭」等に参画し国有林のPRを実施 ・「宍粟50名山」の整備、登山会に協力 ・「宍粟の森見学ツアー」を開催 ・「道の駅山崎夏フェスタ」に参画し、兵庫署の取組、国際森林年などのPRを実施 <p>【平成24年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山崎さつき祭」に参画し、木工教室の開催、国有林野のPRを実施 ・「道の駅山崎夏フェスタ」に参画し、兵庫署の取組、国有林野のPRを実施 ・赤西国有林（宍粟市）の企業の森において、（株）日本触媒、NPO ひょうご森の倶楽部とCSR活動（新人社員研修、手作り案内板作り、木製写真フレーム作り、自然観察等）を3回実施 	
	国有林担当部局・役割	署業務課 （企画・実行・協力）
	連携協働相手先・役割	宍粟市、しそ観光協会、しそ森林王国、国有林OF会、（株）日本触媒、NPO ひょうご森の倶楽部 （企画・実行・協力・講師）
取組の結果、反響、今後の課題等	イベントでは森林・林業、国有林野などについてPRが出来た。また、企業の森では、自然に触れ合い、体験することや木製品作りを通じて森林への理解を深められ、また、企業の人材育成にも貢献出来た。	
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：主催機関による広報、プレスリリース、署ホームページ。 効果：緑の交流では、企業、一般参加者など多数が見込まれ、森林・林業や国有林野のPRが可能である。	

【参考資料】

取 組 名 宍粟市におけるみどりの交流等（継続）



山崎さつき祭り（宍粟市）



（同左）木エクラフト



道の駅夏フェスタ（宍粟市）

←（同上）丸太切り



企業の森で CSR 活動
（宍粟市赤西国有林）

平成24年度 アクションプログラム実施結果

No. 14-11

兵庫森林管理署

取組名	ボランティアグループ等による森林整備・歩道整備等（継続）
流域名	揖保川・加古川流域
重点事項番号	⑥－62
実施箇所及び実施日	森林に親しむ会外ボランティア団体による活動 （平成24年4月～平成25年3月）
取組の背景及び必要性	森林ボランティア活動、ふれあい体験に対する要望が高まっており、地域住民等からの要請に応える必要がある。
取組の内容	<p>【全体の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市近郊の里山国有林において、歩道整備、林内清掃、不法投棄の見回り、森林の整備など地域住民の意向を反映したボランティア活動を受け入れ、国有林野への理解と協力体制を形成 <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 団体（9 団体）と「ふれあいの森」、「多様な活動の森」協定を締結し、フィールドの提供を実施 ・NPO 団体の活動による下刈り、つる切り、間伐などの森林整備や自然観察会などを開催 <p>【平成24年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 団体（10 団体）の活動による下刈り、つる切り、間伐などの森林整備や自然観察会等の開催 ・NPO 団体による兵庫署生産事業地の見学（宍粟市赤西国有林）
国有林担当部局・役割	署業務課 （企画・実行・協力）
連携協働相手先・役割	森林に親しむ会、ボランティアグループ未来の家、大藤山ボランティアグループ外団体 （企画・実行・協力・講師）
取組の結果、反響、今後の課題等	NPO 団体等の組織強化や活動を通じて国有林野への理解が深まった。
PR の実施状況及びその期待する効果	PR：主催機関による広報。 効果：国有林野のサポーターとして、各機関の継続した活動を通じ、更なる国有林野への支援・理解が得られる。

【参考資料】

取 組 名 ボランティアグループ等による森林整備・歩道整備等（継続）



竹林等の整備作業をするボランティア（三木市蓮花寺山国有林）



同上



ボランティア団体による生産事業
現場の見学（宍粟市赤西国有林）

平成24年度 アクションプログラム実施結果

No. 14-12

兵庫森林管理署

取組名	低コスト造林におけるセラミック苗の普及（新規）
流域名	揖保川・加古川・円山川流域
重点事項番号	②-25
実施箇所及び実施日	生産事業及び造林事業を一括発注：マンガ谷国有林 （平成24年9月20日） セラミック苗の取組について発表：林野庁（平成24年11月20日）
取組の背景及び必要性	主伐期を迎える森林が増大している中で、依然として木材価格は低迷しており、林業の経営コスト低減は重要な課題である。特にコストの大半を占める植付、下刈りなどの保育経費を削減することが必要となっている。
取組の内容	<p>【全体の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発段階であるセラミック苗の普及に向けた実用性の検証及びPRを実施 <p>【平成24年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで試験的に取り組んできたセラミック苗について、普通苗との生長量比較、トータルでのコスト削減など実用性を検証 ・各種会議等でセラミック苗の導入に向けた取組についてPRを実施 ・伐採及び植付を一括にした事業の発注では、セラミック苗を植栽し、トータルでのコスト削減等について検証（宍粟市マンガ谷国有林）
国有林担当部局・役割	署業務課 （企画・実行）
連携協働相手先・役割	兵庫県、林業事業者 （企画・実行）
取組の結果、反響、今後の課題等	兵庫署が取り組んでいるセラミック苗の普及について、林野庁研究発表会の場において紹介ができた。引き続き、実用性等について検証を継続しつつ、セラミック苗の普及・定着に努める。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：各種会議、関係機関への情報提供、署ホームページ。 効果：国有林、民有林を通じて、低コスト造林の普及・定着が期待される。

【 参 考 資 料 】

取 組 名 低コスト造林におけるセラミック苗の普及（新規）



セラミック苗

※土を高温で焼いた筒状の陶器に枝を挿し木したもの



誘導棒による植付

※土を掘り起こす必要がないため、植付効率が良い



セラミック苗を植付（宍粟市マンガ谷国有林）

平成24年度 アクションプログラム実施結果

No. 14-13

兵庫森林管理署

取組名	鳥獣等被害対策に向けた取組（新規）
流域名	揖保川・加古川・円山川流域
重点事項番号	⑤－52、⑤－54
実施箇所及び実施日	ニホンジカの採食による下層植生調査：鶏籠山国有林 （平成24年6月4日、11月15日） 兵庫県ナラ枯れ被害対策連絡会議に参画：兵庫県中央労働センター （平成24年10月25日） 松くい虫被害対策推進協議会：兵庫県民会館（平成25年2月28日） ニホンジカの個体数調整：本谷国有林（平成24年度狩猟期）
取組の背景及び必要性	ニホンジカの生息分布域の拡大により、地域における森林・林業被害が深刻化している。また、カシノナガキクイムシを媒体とするナラ類の集団枯損による里山林の防災、景観形成機能低下の対策も必要。
取組の内容	<p>【全体の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニホンジカの採食による下層植生衰退地において、獣害防護柵の設置、本数調整伐により林内下層植生の回復を促す ・兵庫県ナラ枯れ被害対策連絡会議における被害状況、被害対策の具体的方針について協議 <p>【平成24年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニホンジカの採食による下層植生衰退地において、兵庫県立大学との共同下層植生調査を実施 ・兵庫県ナラ枯れ被害対策連絡会議、松くい虫被害対策推進協議会に参画し、情報を交換 ・宍粟市、兵庫県猟友会宍粟支部との連携により、国有林内に囲い罠を設置し、ニホンジカの個体数を調整
国有林担当部局・役割	署業務課 （企画・実行）
連携協働相手先・役割	兵庫県鳥獣部局、六甲砂防事務所、宍粟市、兵庫県猟友会宍粟支部、兵庫県立大学 （企画・実行・協力）
取組の結果、反響、今後の課題等	ニホンジカの個体数調整については、地元市及び猟友会との連携が可能となり、地域連携として獣害対策に取り組むことが出来た。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：関係機関へ情報提供。 効果：ナラ枯れ被害等の抑制、ニホンジカの個体数減及び下層植生の回復。

【参考資料】

取 組 名 鳥獣等被害対策に向けた取組（新規）



兵庫県立大学との連携による下層植生調査（たつの市鶏籠山国有林）



ニホンジカの個体数を調整するための囲い罠
[5m × 4m]（宍粟市本谷国有林）



メス成獣を捕獲

平成24年度 アクションプログラム実施結果

No. 14-14

兵庫森林管理署

取組名	地域における森林計画策定等の支援（新規）
流域名	揖保川・加古川・円山川流域
重点事項番号	②－24
実施箇所及び実施日	准フォレスターの取組内容等を検討：兵庫県森林林業技術センター （平成24年8月24日）
取組の背景及び必要性	市町村森林整備計画は、地域に密着した公的な計画として、森林所有者の意向、森林の現況などを踏まえ、地域の森林に関するマスタープランとなることが求められている。また、森林経営計画では、持続的な森林経営を効率的に行うこと、森林の有する多面的機能を面的に発揮させることが求められている。
取組の内容	<p>【全体の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成主体である市町の主体性を確保しつつ、計画の策定と実行監理について支援 ・計画内容が森林整備や路網整備など多岐に及ぶことから複数の分野の関係者と連携を図りつつ支援 ・森林経営計画の認定を行う市町長に対する技術的援助 <p>【平成24年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県准フォレスターとの連携により、「緑の雇用」現場技能者育成対策事業集合研修を企画（宍粟市マンガ谷国有林） ・兵庫県准フォレスターと連携により、准フォレスターとしての取組及び民国連携について検討
国有林担当部局・役割	署業務課、准フォレスター （企画・実行・協力）
連携協働相手先・役割	兵庫県、関係市町、兵庫県准フォレスター （企画・実行・協力）
取組の結果、反響、今後の課題等	宍粟美しい森林づくり推進協定〔属人協定〕では、兵庫県准フォレスターとの連携により、新たな協定が締結され、協定者が2者から5者の参画になった。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：関係機関への情報提供。 効果：准フォレスターの連携により、民国連携の推進及び市町森林整備計画等策定の支援が期待される。

【参考資料】

取組名	地域における森林計画策定等の支援（新規）
-----	----------------------



兵庫県准フォレスターが参加した民・国連携の運営会議（宍粟市役所）